



室小だより

茅ヶ崎市立室田小学校
令和7年度 12月号
校長 村越 さゆり

学校教育目標

豊かな心を持ち、主体的・創造的に行動する子の育成

～やさしく かしこく たくましく～

落ち着いた学校生活

11月は、各学級でじっくり学習に取り組むことができています。また、学年で校外に出る活動も多くありました。1年生はバス遠足で、ミカン狩りに行きました。心配された天気でしたが、無事にみかん狩りをして、みかんのお土産もあって、得した気分になった遠足でした。生命の星地球博物館へも行って、学ぶこともできました。3年生はズーラシアへ行きました。グループ活動で見て回ることができ、みんなで協力する体験もしました。4年生は茅ヶ崎市民文化会館で音楽会に出席しました。今月から空調工事で体育館が使用できないことから、日々の練習は、教室や多目的ホールで行いました。毎日聞こえてくる元気な歌声に、聞く者が口ずさんだり、リズムに乗って、心がワクワクしたりしました。当日は出発前に、保護者の皆様にも聞いていただきエネルギーを充電し、本番前には公園で練習を経て、大きなホールで、リコーダーや鍵盤ハーモニカの演奏もはさみながら、力強く歌い終えました。みんなやり遂げた表情で席へ戻り、発表が2番目でしたので、他の学校の合唱をゆっくり鑑賞することができました。5年生は愛川ふれあいの村で、1泊2日間のキャンプ活動を体験しました。前日は気温が下がり心配しましたが、キャンプ活動中は天気や気温に恵まれ、比較的暖かな中で活動できました。とても充実した時間を過ごし、仲間とともに過ごしたことは、子どもたちにとって貴重な体験となったことでしょう。水泳指導も順調に実施しています。5月より6年生、3年生が実施し、9月から5年生、順に、1年生、2年生、4年生と続いて2月中には全学年が実施できる予定となっています。

子どもたちは様々な体験を通して、成長しています。公共の場でマナーを守ることも、集団で過ごす中だからこそ学べていることもあるようです。大人からの指示を聞き落としてしまうこともあります、互いに声をかけ合って気づくことができています。こういった何気ない子どもたちのやり取りの積み重ねがあって、これまでの成長につながっていることを、共に過ごす中で感じております。みなさんは、子どもの成長をどんな場面で感じますか。感じた場面で、言葉にして伝えることで、子どもの気づき、そして自信という力に変化します。さらなる子どもの成長のために、みなさんの言葉でつないでいきましょう。

先日、学校運営協議員の皆様に学校へ来校していただき、子どもたちの学校での様子を見ていただきました。ご自分たちの小学生だったころとの違いや、教室それぞれにカラーがあること等、子どもたちが現代の子どもらしく学習に取り組んでいる姿を見られたというお話をいただきました。日頃の朝の見守りの様子から、保護者の皆様にも子どもたちが支えられて、学校生活に励めている話題もありました。また、地域において、学習支援や子どもたちの居場所づくりにつながる受け皿となる活動をして、地域で子どもたちを支えてくださっているお話もありました。今後も、『地域の人材活用』という視点で、子どもたちを育成する活動を、地域の皆様とともに、取り組んでいきたいと思います。